



2019年8月6日

各 位

会 社 名 玉井商船株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐野 展雄
(東証第二部・コード9127)
問合せ先 常務取締役 木原 豊
(TEL 03-5439-0260)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正

(2019年4月1日～2019年9月30日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	2,800	0	△40	△150	△77円70銭
今回修正予想(B)	2,400	△160	△200	△70	△36円23銭
増 減 額 (B-A)	△400	△160	△160	80	
増 減 率 (%)	△14.3%	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	2,607	98	69	124	64円34銭

2. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正

(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	5,700	140	70	△30	△15円54銭
今回修正予想 (B)	5,500	△60	△130	△30	△15円54銭
増減額 (B-A)	△200	△200	△200	0	
増減率 (%)	△3.5%	—	—	—	
(ご参考) 前期連結実績 (2019年3月期)	5,488	304	201	888	460円06銭

・修正理由

外航部門では、第2四半期以降、ドライバルク市況については、順調に回復傾向にあると思われれます。

2020年3月期は、第1四半期の実績を踏まえ、外航船の第2四半期以降の配船計画を一部変更したことにより、前回予想時(2019年5月10日)に計画した航海数より2航海の減少が予想されることなどから、連結売上高は、前回の業績予想を200百万円下回る5,500百万円になる見込みです。また、この減少には為替想定レートを110円から108円に見直したことによる減少80百万円が含まれております。営業費用については、航海数の減少に伴う費用減少と燃料油価格の上昇による燃料費の増加などを見込んだことから、前回予想の営業費用と同額が想定され、連結営業損益は、前回予想比200百万円減少の営業損失60百万円、連結経常損益は、経常損失130百万円を予想しております。

第2四半期以降の為替レート及び燃料油価格は下記の通り想定しております。

	前回予想 (2019年5月10日公表)	今回予想 (2019年8月6日公表)
期中平均為替レート	1US\$=110円	1US\$=108円
予想燃料油価格	US\$467/MT	US\$486/MT

(注) 上記業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上